

事務事業名 筑紫野市通学合宿推進事業

出力日：令和02年03月19日

キーコード：1643

施策：	19	青少年の健全育成	財務コード	--
基本事業：	01	学習機会、体験活動の充実及び情報の提供	担当部	教育部
基本事業の成果指標	子どもの家庭・地域での体験活動等が充分だと思ふ市民の割合 授業を除いて、地域での体験活動をしている児童の割合 授業を除いて、地域での体験活動をしている生徒の割合		担当課	生涯学習課
			担当係	生涯学習推進・青少年担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成24年度 ~	新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）		2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）				
児童		子どもたちが公民館に下校し、翌朝の登校まで共同生活（6泊7日）を実施する。実施の際には、地域住民などで実行委員会を結成し、企画運営を行う。補助額：10万円/箇所（実行委員会）				
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）		事業実施の流れ 通学合宿実施団体の募集（4・5月） 生涯学習課の審査により実施団体の決定（5月） 実行委員会立上げ・打合せ（5・6月） 事業実施（7月） 事業報告書の提出（8月）				
本事業の実施により、子どもたちの生活力の育成はもとより、家庭の教育力の向上、地域の教育力の向上についても図る。		山家地区では、以前は市の委託事業として通学合宿を実施していたが、現在は独自予算の通学合宿（8回目）を実施している。				

4. 成果（簡易評価は未記入）								
成果指標名称	単位	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度	目標
		実績	実績	当初	要求	計画	計画	
参加児童数	人	25	22	40	40			40
実施団体数	件	1	1	2	2			2

5. コスト								
事業費	計	千円	0	0	100			
	国	千円	0	0	0			
	県	千円	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0			
	一般	千円	0	0	100			
正職員人工数		人工	0.1	0.1	0.1			
正職員人件費		千円	800	809	807			
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	800	809	907			

6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）	
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）	〔状況〕 山家地域においては、継続的な実施により通学合宿が地域行事として定着しているものの、他の地域での事業実施は5年連続で0が続いている。 〔原因〕 事業実施には、地域ボランティアの確保が必要不可欠であるが、十分な確保が行えず、実施に至っていない。

7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）				
対象動向	維持	類似事業	あり	未実施の地域に対して、広報活動を行い周知を図るとともに、地域のボランティアの確保に向けた取組みを検討していきます。地域のボランティアの確保が最重要課題であるため、ボランティアの負担を減らすような事業計画を推進するよう、併せて検討していきます。 類似事業として、青少年育成事業（Bレジャー）補助事業がある。
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし	
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし	
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	あり	
成果向上余地	中程度			

8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）		改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
--------------------------	--	-------	----	-----	----	------

改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）	
平成26年度以降、実施団体0が続いているため、事業期間やボランティア確保などの事業のあり方についてを検討する。	
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）	備考・特記事項 or 進行管理欄
平成21年度から福岡県の委託事業として実施してきたが、平成24年度から筑紫野市委託事業として実施している。	